

## ■ 伊藤謝恩ホール

地下2階 / 面積(412.71㎡) / 天井高(6.4m)

【定員】通常:396名 / 最大:489名(多目的のスタッキング椅子使用時)

	主たる備品	数量	サイズ (縦/横/高さ)mm	備考
1	可動機	70	480/800/700	アリーナ席
2	可動椅子A(客席数)	70		アリーナ席/93のスタッキング椅子追加可能
3	固定椅子(客席数)	326		観客席
4	大演台(講演台)	1	765/1510/800	移動式
5	演台(操作卓)	1	765/1015/800	移動不可
6	司会台	1	490/620/1010	移動式
7	花台	2	600/600/700	移動式
8	有線マイク	4		
9	ワイヤレスマイク	4		2回線ピンマイクに変更可能
10	プロジェクター(既設)	1		12,000lm
11	電動昇降スクリーン	1	220インチ(ワイド)	4,870×2,739
12	モニター(足元返し用)	2	55インチ	
13	再生設備	1		CD
14	記録用設備 カメラ	1		電動旋回カメラ(ホール後方)
15	記録用設備 録画機材	1		HDD/DVDレコーダー
16	美術バトン	1	W 8000mm	
17	案内表示板A	6	A3サイズ	フルハイビジョン(1920×1080)
18	案内表示板B	3	870/205	ホワイトボード
19	案内表示板C	1	A1サイズ	階段入口ポスター掲出用
20	通訳室	1		2名室
21	控室1	1	17.89㎡	定員4名(テーブル席)
22	控室2	1	24.85㎡	定員6名(テーブル席)
23	搬入用エレベーター	1	2050/2000/2300	間口:幅1500/高2100 ★使用の場合は運営室にお声掛け下さい。

※伊藤謝恩ホール使用の場合には、音響照明オペレーターの発注(有料)が必要となります。

※489席レイアウトへ変更する場合は、可動式機の逃がし場所と椅子確保の為、多目的スペースの予約が必要です。

## ■ 多目的スペース

地下2階 / 面積(332.01㎡) / 天井高(3.5m) / 定員(着席時:93名/立食時:250名)

	主たる備品	数量	サイズ (縦/横/高さ)mm	備考
1	多目的テーブル	18	800/1600/720	
2	スタッキング椅子	93		※ホール489席レイアウト時に使用
3	司会台(講演台)	1	600/1000/950	可動式
4	有線マイク	1		
5	ワイヤレスマイク	2		1回線ピンマイクに変更可能
6	プロジェクター(可動式)	1		3500lm
7	可動式スクリーン	1		約80インチ
8	グランドピアノ	1		
9	案内表示板A	1	A3サイズ	縦・横可能/挟み込み式
10	仮設ステージ	2	1400×1400×400	

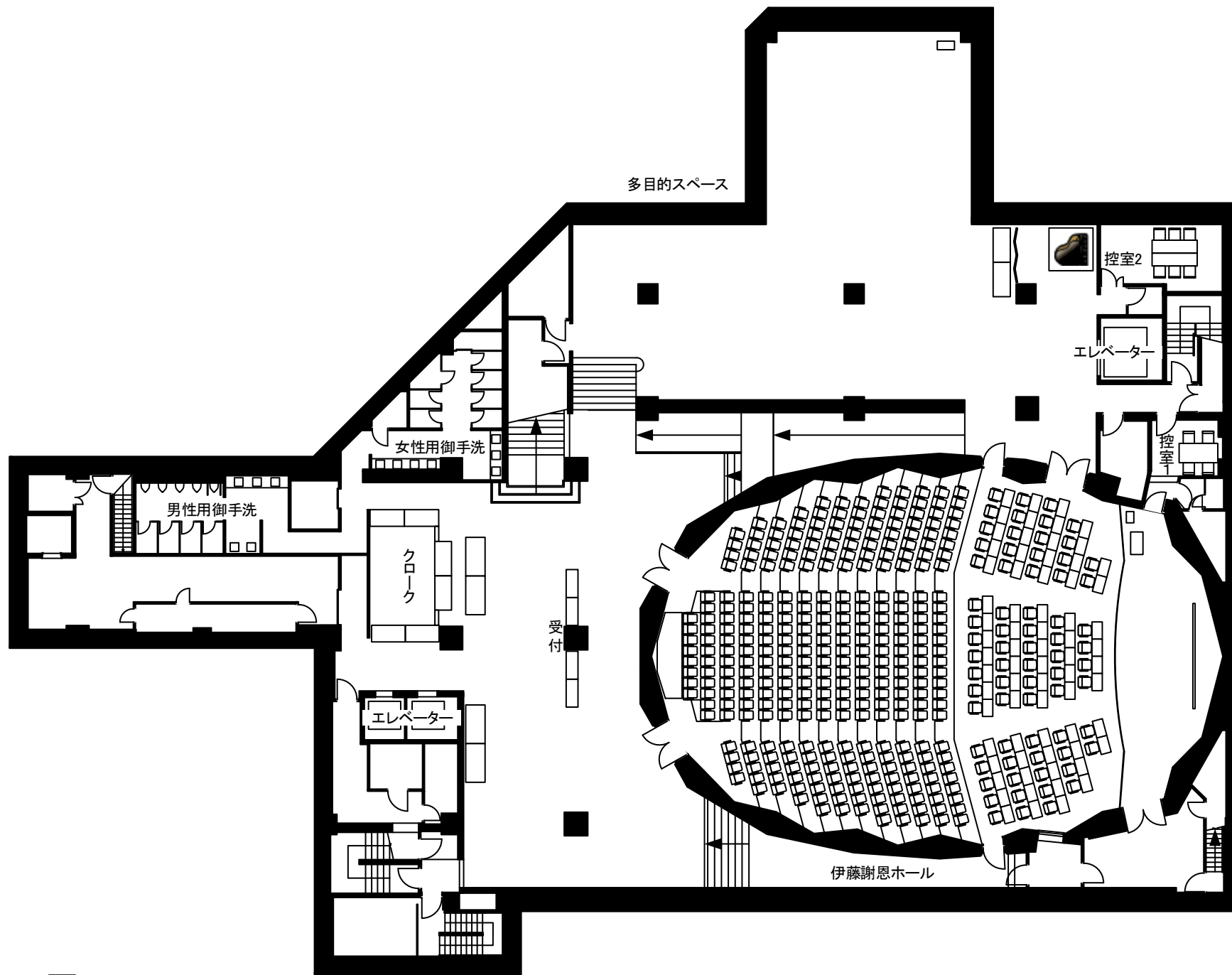
※天井に配置されているスポットは可動式ですが、向きの変更をする場合はご自身で行って下さい。  
また、終了後は最初の向きに戻して下さい。

## ■ ホワイエ

地下2階 / 面積(389.95㎡)

	主たる備品	数量	サイズ (縦/横/高さ)mm	備考
1	受付テーブルA	4	550/1300/950	
2	受付テーブルA用ハイチェア	4		
3	受付テーブルB	4	750/1800/720	
4	クロークスペース	1		【備品】タグ(約600)・ハンガー(約200)
5	カサ立て	4		60本用×4

※伊藤謝恩ホールと多目的スペースをそれぞれ単独利用の場合は、共有となります。



## B2F フロア図

東京大学伊藤国際学術研究センター

【天井高】  
 謝恩ホール 6.4m  
 多目的スペース 3.5m  
 ホワイエ 5.7~6.1m

【搬入エレベーター寸法】

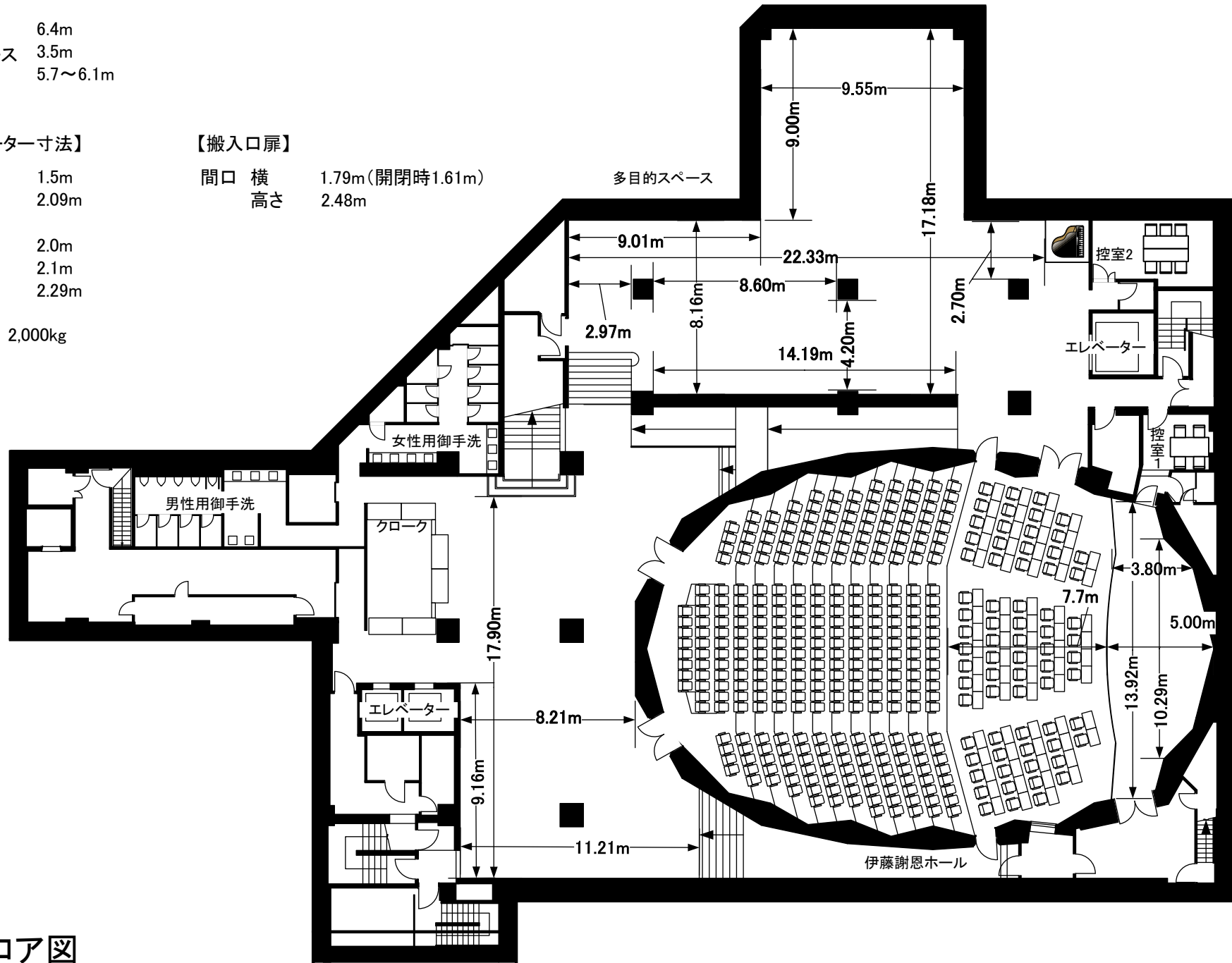
間口 横 1.5m  
 高さ 2.09m

室内 横 2.0m  
 奥行 2.1m  
 高さ 2.29m

\*最大積載量 2,000kg

【搬入口扉】

間口 横 1.79m(開閉時1.61m)  
 高さ 2.48m



B2F フloor図

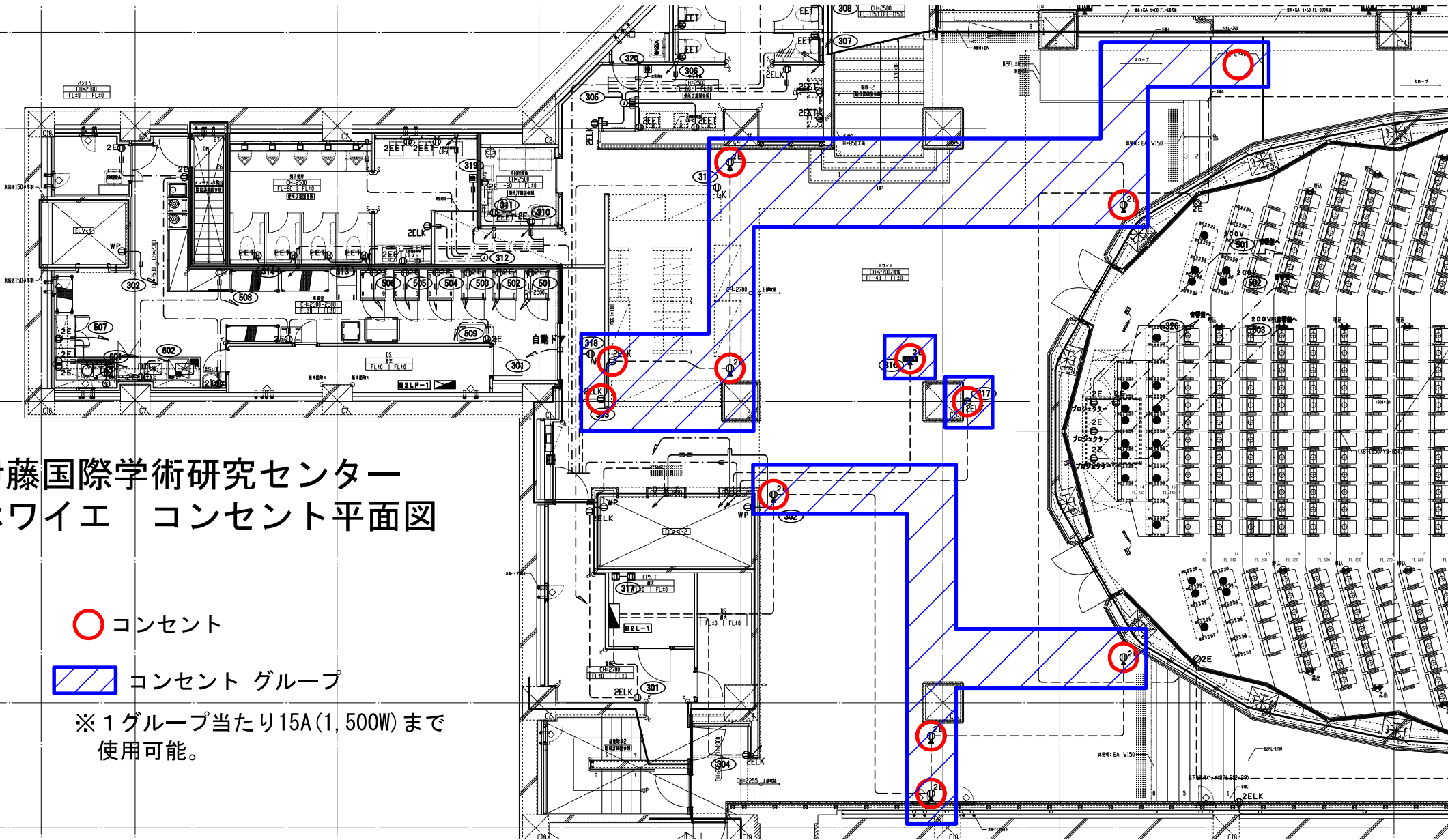
東京大学伊藤国際学術研究センター

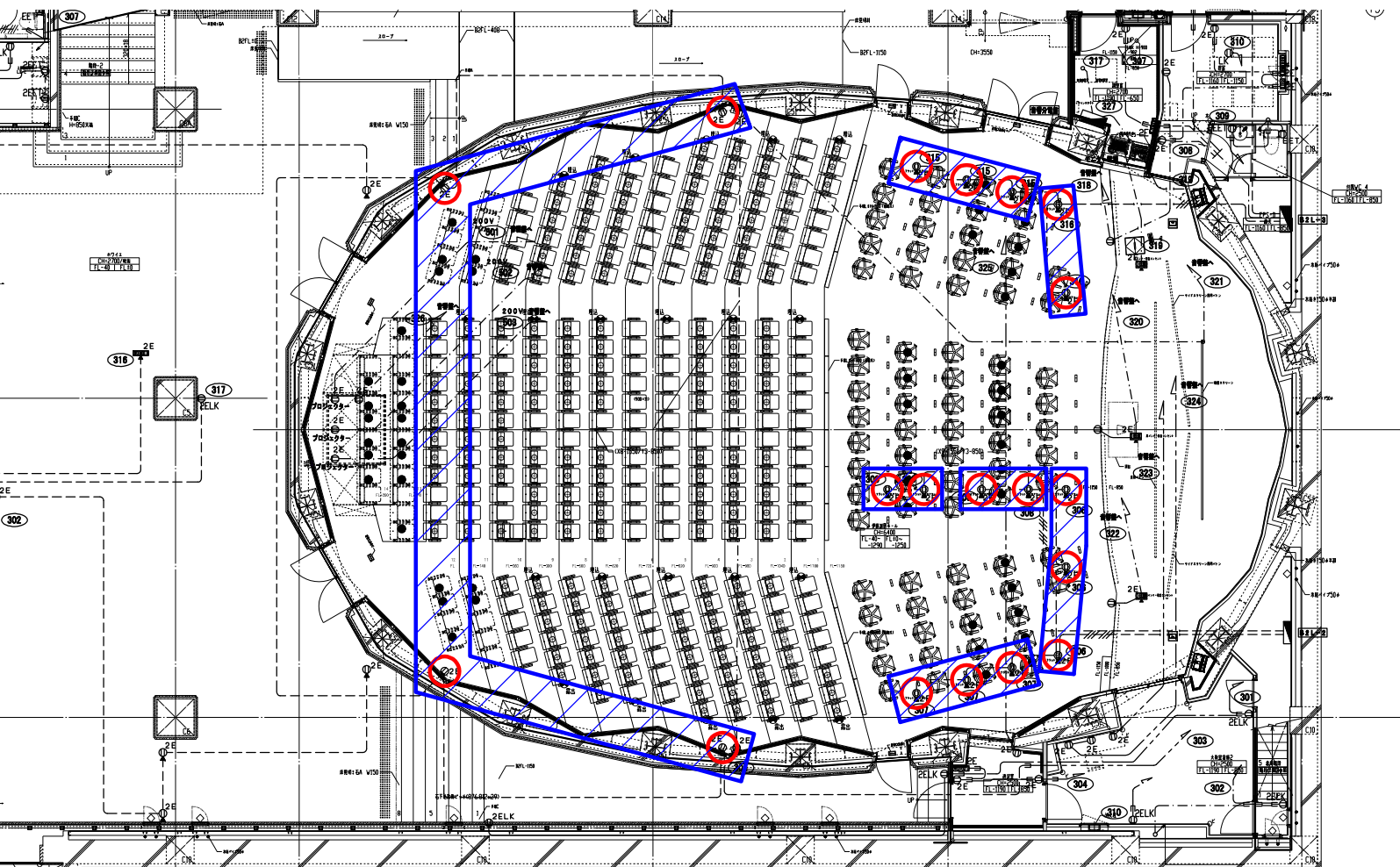
# 伊藤国際学術研究センター ホワイエ コンセント平面図

○ コンセント

▨ コンセント グループ

※ 1グループあたり15A(1,500W)まで  
使用可能。





伊藤国際学術研究センター  
 謝恩ホール コンセント平面図

○ コンセント

▨ コンセント グループ

※ 1グループ当たり15A(1,500W)まで  
 使用可能。

注記

1. 特記なき配管配線は、下記による。

——	EM-EFF2.0-3C	(E25)
——	EM-EFF2.0-2C+3C	(E31)
——	EM-EFF2.0-3Cx2	(E31)
——	EM-EFF2.0-3C	(天井内配線)
——	EM-EFF2.0-2C+3C	(天井内配線)
——	EM-EFF2.0-3Cx2	(天井内配線)
——	EM-EFF2.0-3C	(二重床内配線)
——	EM-EFF2.0-2C+3C	(二重床内配線)
——	EM-EFF2.0-3Cx2	(二重床内配線)
----	EM-EFF2.0-3C	(床埋設配管PF22)
----	EM-EFF2.0-2C+3C	(床埋設配管PF22)
----	EM-EFF2.0-3Cx2	(床埋設配管PF28)
CE5.5	CE5.5 <sup>+</sup> -3C (FEP30)	GL-300mm
—C—	C—	(PF22)

\* ケーブル配線で壁貫通部及び立下げ部は PF22 にて保護のこと。

—●— 防火区画貫通処理 (電線管)

2. ケーブルラック防火区画貫通部分 (▨) は、国土交通大臣  
 認定工法にて防火区画貫通処理を行うこと。

\* 器具の寸法及び高さは総合図による

NO. 03563

設計事務所名

名古屋大学 (太田) 伊藤国際学術研究センター (仮称) 新館 1 直

F-016

